

作業療法を学ぶと日常が少し違ってみる -MTDLP の土台となる，作業療法士のまなざし-



<講師> 神保 匡良先生
(茅ヶ崎リハビリテーション専門学校)

<内容>

日常生活や身近な題材を通して作業とは何かを考える
臨床のクライアントの作業について考える
(グループワークも行う予定です)



2026年8月7日(金)
19:00-20:30



ZOOM オンライン開催



参加費：無料

専門職には、それぞれの「ものの見方」があります。では、作業療法士は専門職として、何をみているのでしょうか。私は作業療法を学び、実践してきた中で、何気ない日常が少し違って見えてくるようになりました。また、養成校教育に10年関わる中で、学生たちが作業療法のもの見方を少しずつ理解できるよう、日常生活や身近な題材を通して伝えることを大切にしてきました。

今回の研修では、日常の出来事を手がかりに、作業療法士のまなざしについて一緒に考えていきます。手順や書式の前に、「人の生活をどのようにみるのか」。MTDLPの土台にもなるそのまなざしを、日常からあらためて見つめ直してみませんか。

参加条件：各都道府県士会員であること

和歌山県外からの参加もお待ちしております！

申し込み URL : <https://forms.gle/um6P7JLauDybfzpc6>



問い合わせ先

医療法人 南労会 紀和病院 リハビリテーション部
西嶋彬

TEL : 0736-33-5000.

E-mail : wakayama.ot.mtdlp@gmail.com